

時 とき

時間 じかん

時間 じかんはどのようにしたらわかりますか。時間 じかんを知る しる方法を ほうほう 考 かんがえてつぎの空白 くうはくに書 かいてください。

いま いま とき とき たいせつ たいせつ
今の時 いま を大切 たいせつ にする

「人 ひとの子 こは思 おもいがけ けない時 ときに来 くるから、用 よう意 いして

なさい」というイ いエ えス すさまの呼 よび びかけは、今 いまの時 ときを

大切 たいせつに過 すごしなさいという呼 よび びかけでもあり あります。

あとから振 ふり返 かえって、あの時 ときもつと注 ちゅう意 いしていれば

戦 せん争 そうは起 おこらなかつたの のに思 おもって も、もう遅 おそいので です。

今 いま、私 わたしたちが毎 まい日 にちの生 せい活 かつの中 なかで起 おこっているで でき

ごと ごとに注 ちゅう意 いを向 むけ、一 ひと人 ひとりの ひと人 ひとり間 かんが大切 たいせつにされ、

お互 たがい がを尊 そん重 じゅうしあつて生 いきて いるか、知 しらないうち

に人 ひとを無 む視 しして して いないか常 つねに確 たしかめて いく必要 ひつようがあ

るのです。

へいわじゆんかん 平和旬間

8月6日から15日まで、日本のカトリック教会では、毎年平和旬間の行事が行なわれています。

それは「福音の精神に根ざし、キリストの教える真理・自由・愛・正義に支えられた社会の実現に努力する」ことにあります。

第2バチカン公会議の現代世界憲章第5章では、平和をすすめることについて述べています。「平和は永久にあるものではなく、絶えず作るべきものです。そのうえ人間の意志は弱く、罪によって傷つけられて

いるため、平和をえるためにはそれぞれがいつも、

感情をおさえ、正しく見守る必要があります。しか

し、それだけでは十分ではありません。個人の善が

安全に確保され、人々が精神と才能の富を信頼をもつ

て互いに交流しあわなければ、地上に平和を作るこ

とはできません。」

